

科目名	公衆衛生看護方法Ⅲ (管理論) Public Health Nursing Ⅲ		担当教員 (研究室番号)	杉山希美 (402) 中北裕子 (404) 清水真由美 (407)		教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修年次	3年次前期	科目区分	専門科目・広域看護学		選択区分	必修	単位数(時間)	1(30)		授業形態	演習	科目等履修生	否
	オープンクラス												否
科目目的	公衆衛生看護管理の概要を知り、また、公衆衛生看護管理の一機能である地域診断の目的を十分に理解し、地域に顕在・潜在している保健・医療・福祉に関連する課題を解決するための理論や方法論を学ぶ。												
ディパロ・ホリソ(DP)	主要なDP	F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。(技能・表現)											
	関連するDP	B 人々の生活に根差した看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現) E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)											
到達目標	1. 公衆衛生看護活動における管理の構成要素とその目的が理解できる。 2. 公衆衛生看護管理の一機能である地域診断の目的・意義が理解できる。 3. 既存の資料の収集・分析ができる。 4. 地域住民のニーズを把握する方法ができる。 5. 地域に顕在あるいは潜在化する健康問題の分析方法が理解できる。												
成績評価方法(基準)	グループ課題(40%)、個人レポート課題(40%)、演習への取り組み(20%) ※授業の3分の2以上出席していない者は受験資格がありません。												
再試験の有無と基準等	なし												
教科書	標準保健師講座 第1巻 地域看護学概論(医学書院) 標準保健師講座 第2巻 地域看護技術(医学書院)												
参考書等	国民衛生の動向, コミュニティアズパートナー(エリザベス T. アンダーソン), ヘルスプロモーション(ローレンスW. グリーン, 訳: 神馬征峰等), 他, 必要に応じて適宜紹介します。												
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	公衆衛生看護活動における管理の実際、また根拠に基づいた地域看護活動を展開していく上で基本となる地域看護診断が具体的に理解できるように演習を織り交ぜていきます。地域看護診断が身近に感じられるよう、積極的に授業に参加し習得してください。												
備考	公衆衛生看護方法Ⅰを修得していないと履修できません。												
回	学習項目	学習内容	担当教員	授業方法									
1回	公衆衛生看護活動における管理・地域診断のモデル、地域診断のプロセスと方法	公衆衛生看護管理の一機能である地域診断の目的と意義を学ぶ。地域診断と地域活動の基盤となるモデルを復習し、地域診断のプロセスと方法について学ぶ。	杉山	講義									
2回	地域看護診断の実際①	系統的な情報収集方法について理解し、公開されている二次資料の活用方法を学ぶ。	杉山, 他	演習									
3回	地域看護診断の実際②	対象市町に住む人々の情報収集を行う。	杉山, 他	演習									
4回	地域看護診断の実際③	対象市町のに住む人々の情報収集、分析を行う。	杉山, 他	演習									
5回	地域看護診断の実際④	対象市町を構成する要素の情報収集を行う。	杉山, 他	演習									
6回	地域看護診断の実際⑤	対象市町を構成する要素の情報収集を行う。	杉山, 他	演習									
7回	地域看護診断の実際⑥	対象市町を構成する要素の情報収集、アセスメントを行う。	杉山, 他	演習									
8回	地域看護診断の実際⑦	対象市町を構成する要素の情報収集、アセスメントを行う。	杉山, 他	演習									
9回	地域看護診断の実際⑧	対象市町のアセスメント、母子、成人、高齢者の健康課題の抽出を行う。	杉山, 他	演習									
10回	地域看護診断の実際⑨	対象市町のアセスメント、母子、成人、高齢者の健康課題の抽出を行う。	杉山, 他	演習									
11回	地域看護診断の展開⑩	健康課題の優先順位の決定、健康課題解決に向けた方策について検討する。	杉山, 他	講義									
12回	地域看護診断の実際⑨ (住民組織支援、ケアシステムの構築、施策化)	地域保健活動に住民が参加する意義と地域ケアシステムの発展過程・システム構築・ネットワーク化について学ぶ。	杉山, 学外 協力者	演習									
13回	地域看護診断の展開⑪	対象市町の地域診断のまとめとして、抽出した健康課題とその背景を図やグラフなどを用いて視覚的にまとめる。	杉山, 他	演習									
14回	地域看護診断の実際⑬	地域診断発表会 グループ発表を通じ、他の市町の特性と健康課題の特徴を学び、対象市町の健康課題を検討する。	杉山, 他	演習									
15回	地域看護診断の実際⑭	グループに分かれ、対象市町の健康課題やその背景要因を明確にするためのインタビューガイドを作成、検討する。	杉山, 他	演習									

学 習 課 題

公衆衛生看護学方法Ⅰで配布した資料(母子/成人・高齢/精神/障害/難病/感染症)は、本科目受講前に再度復習しておく。

また、本科目受講の際は、必ず上記資料をご持参ください。課題作成及び演習では、パソコンを使用します。

第4、9、11、14回に個人課題の提出。

第4、10、11、15回にグループ課題の提出。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。

・行政機関等において保健師として実務に携わった教員が指導する。